

# 環境活動レポート



～ 建設現場を男女ともに働きやすい環境とする取り組みの一環として『快適トイレ』を導入しています。～

工事件名：平成29年度有明北地区区画道路建設及びその他工事

工事場所：東京都江東区有明一丁目地内



千代田建設興業株式会社

報告期間：平成29年4月～平成30年3月

作成日：平成30年9月25日

改訂日：平成30年10月10日

# 目 次

✚ 環境方針	1
✚ 組織の概要	2
✚ 環境目標とその実績	3
✚ 実績に対する評価	4
二酸化炭素排出量の削減／廃棄物排出量の削減	
排水量の低減／グリーン購入の推進／環境に配慮した施工	
✚ 主要な環境活動の内容及び取組結果の評価	6
二酸化炭素排出量の削減	
廃棄物排出量の削減／排水量の低減	
グリーン購入の推進／環境に配慮した施工	
✚ 環境関連法規への違反、訴訟の有無	9
✚ 代表者による全体の評価と見直しの結果	10
1. 見直し関連情報	
2. 代表者による全体評価・見直し指示	
✚ 環境配慮型施工の実施	12
✚ 環境コミュニケーション	16

# 環境方針

下記の環境方針を定め、全社的に取り組みます。

## <環境理念>

千代田建設興業株式会社は、建設業を営むものとして、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

## <環境保全への行動指針>

次の事項について環境目標・活動計画を定め、公共工事等の事業活動を通じて、継続的な改善に努めます。

電力及び、燃料の消費に伴う二酸化炭素の削減に取り組みます。

廃棄物の削減及び再資源化の推進（資源循環型社会への対応）

排水量の削減（水資源の保全）

グリーン購入の推進

社会貢献として、環境に配慮した施工の推進

環境関連法規制や当社が約束したことを厳守します。

環境への取組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

全社員が環境活動を理解し、率先して取組めるよう教育訓練を実施します。

制定日：平成22年12月7日

千代田建設興業株式会社

代表取締役

吉田富治雄

## 組織の概要

### 事業所名及び代表者

千代田建設興業株式会社  
代表取締役 吉田 富治雄

### 所在地と連絡先

東京都江東区扇橋 2 丁目 15-4  
TEL : 03-3644-4005  
FAX : 03-3644-5695  
Email : cccl-office@mbe.nifty.com

### 環境管理責任者氏名及び担当者

環境管理責任者 : 柏原 榮二  
EA 2 1 事務局担当 : 加藤 久美子

### 事業内容（認証・登録の範囲）

特定建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、  
ほ装工事業、しゅんせつ工事業、造園工事業、水道施設工事業）

<建設業の許可（東京都知事許可（平成 27 年 10 月 21 日）>

許可の有効期間 平成 27 年 10 月 21 日から平成 32 年 10 月 20 日まで

特定建設業（土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、  
ほ装工事業、しゅんせつ工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業）、  
一般建設業（さく井工事業）

### 事業の規模（平成 29 年度）

主要工事完工高	500 百万円／年
従業員数	13 名
事業所の延べ床面積	81 m <sup>2</sup>

### EA21 活動年度

平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

## ✚ 環境目標とその実績

当社の事業活動における環境負荷を「環境負荷の自己チェック」で把握し、次の5項目を環境目標として策定した。

詳細の内容及び実績は下記の通りである。

※ CO2 排出係数は、H28年度の東京電力パワーグリッド(株)の実排出係数 0.486kg-CO2/kWh を使用した。

環境目標		H24年度 (基準年度)	H29年度 (H29年4月～H30年3月)			H30 年度	H31 年度
		年度実績 H24/4   H25/3	基準年比 目標値	基準年比 実績	達成 状況	目 標 値	目 標 値
排出量の削減 二酸化炭素	事務所の電力の削減 (kg-CO2)	3,564	△5% 3,386	△11% 3,182	○	△6%	△7%
	(参考)現場含む電力の把握 (kg-CO2)	3,564	△5% 3,386	+32% 4,710	-	△6%	△7%
	自動車燃料の削減 (kg-CO2)	24,822	△5% 23,581	△77% 5,606	○	△6%	△7%
排出量の削減 廃棄物	一般廃棄物の削減 (kg)	491	△5% 466	△1% 486	×	△6%	△7%
	産業廃棄物の再資源化の促進	100%	100%	100%	○	100%	100%
	(参考)産業廃棄物の把握 (t)	5,749	△5% 5,462	△86% 792	-	△6%	△7%
の削減 排水量	水道水使用量の低減 (m <sup>3</sup> )	288	±0% 288	±0% 288	○	△6%	△7%
の推進 グリーン購入	事務用品グリーン購入の推進	13%	+5% 18%	+39% 52%	○	+6%	+7%
環境に配慮した施工	再生資源購入率の増加	61%	+5% 66%	+2% 63%	×	+6%	+7%
	低騒音・排出ガス対策型工事の受注増加	100%	100%	100%	○	100%	100%
	環境配慮型施工の受注増加	11%	+5% 16%	△11% 0%	×	+6%	+7%

※ 弊社ではPRTR法に関する化学物質を使用していないため、環境目標に設定しておりません。

## ✚ 実績に対する評価

### 【二酸化炭素排出量の削減】

自動車燃料の使用量に関しては、自動車の利用が必要となる工事現場が多く、また今年度（H29年度）は工事現場の稼働していない期間（月間）が少なかったが、自社保有の2tトラック車輛を工事現場へ投入することが少なかったため、自動車燃料使用量は削減できた。（軽油の使用量は、工事内容による重機の使用如何で変動する。）

事務所の電力の使用量に関しては、7・9・10月を除き目標値より削減できたため、LED照明や省電力タイプの空調の効果は出ていたと考える。

現場含む全社での電力の使用量に関しては、工事の工種等による外的要因に依存するため使用量は増加しているが、節電を心がけ排出量の削減するよう努める。

目標値も適切と考えるので、このまま継続し二酸化炭素排出量削減に取り組むこととする。また、現場含む全社での電力の使用量についても前年度よりは削減できているので、今後も二酸化炭素排出量を把握し削減をはかりたい。

### 【廃棄物排出量の削減】

一般廃棄物の削減の目標は達成できなかったが、倉庫建替後に不要品を廃棄したための増加と考える。以前から一般廃棄物については分別を行っているおり、基準年の累計よりも削減できているので、分別によるリサイクル効果はあらわれている。継続して一般廃棄物の分別を実施し、リサイクルできるものについては資源として再生利用するよう努める。

産業廃棄物については再資源化率の目標100%を達成できた。

産業廃棄物量については基準年と工種が違うため、また、今年度（H29年度）は産業廃棄物を排出する工事が少なかったため削減できた。現場内利用できるものについては利用するよう呼びかけ、削減するよう努める。

工事の工種等による外的要因に依存するため、目標の設定方法を排出量と再生資源化率の両方で管理し、再生資源化率100%を目標として取組み、現場内利用できるものについては利用するよう呼びかけ、産業廃棄物量についても排出量の削減をはかりたい。

### 【排水量の低減】

節水の呼びかけやトイレ・洗車・水飲みなどの節水活動に心がけ、無駄な水の使用を控えることができたので目標を達成できた。継続して節水に取り組みたい。(水の総使用量は 288m<sup>3</sup> より多く使わないこととする。)

工事現場での水道水使用量は本社事務所よりタンクで運んで使用していることがほとんどであり、また分けて管理することができないので、事務所の水道水使用量として管理している。

### 【グリーン購入の推進】

グリーン購入の推進を呼びかけ、今期はほぼ目標を達成できた。

プリンターと適合しなかったため、グリーン購入法適合外のコピー用紙を利用しているが、両面印刷等の機能により使用量自体を削減したり、リサイクルトナーやドラムを積極的に使用するよう努めている。コピー用紙以外の品目に対してはグリーン購入を推進し、現在も実施している。

今後も継続してグリーン購入を推進したい。また、上記理由により適用できなかったコピー用紙に関しては、使用量を「削減」するよう努め、また、他の種類のグリーン購入法適合のコピー用紙が利用できないかどうか検討している。

### 【環境に配慮した施工】

再生資源購入率の増加については、設計上再生資源を使用するようになっていたものの以外の再生資源の購入の推進は行えなかったが、設計段階で推進する動きがあり、目標は達成できなかったが基準年の累計比率よりも増加できているので再生資源購入の推進はできたと考える。

低騒音工事、すすを発生させない工事等の実施については、設計段階で低騒音型重機の使用を推進する動きもあり、指定された低騒音型重機を積極的に使用した結果、目標を達成した。

今期は設計上、環境に配慮した施工方法を採用することができなかったが、今後も継続して環境に配慮した施工方法を採用できるよう取り組みたい。

今後も取り組みを継続することとし、環境に配慮した施工方法については新工法を積極的に取り入れることも視野に入れたい。

## ✚ 主要な環境活動の内容及び取組結果の評価

### ▶ 二酸化炭素排出量の削減

環境活動内容		結果		次年度の 取組内容
事務所の電力の削減	夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切る	○	今まで通り、全社員が心がけており、問題ない。	継続して実施する。
	クールビズ、ウォームビズ運動	○	夏は軽装、冬は重ね着をし、無駄な電力を使用しないよう心がけたため、問題はなく、今後も継続して行う。	
	空調温度の適正化	○	適温を心がけたため、問題ない。	
	空調設備の清掃・点検を行う	○	1年に一度、夏の大掃除にて清掃を行った。	
自動車燃料の削減	急加速・急停車の防止	○	今まで通り、心がけており、問題ない。	継続して実施する。
	冷暖房の控え目使用	△	体調を崩さない程度に使用したため、控え目とは言えない。今後も努力する。	
	アイドリングストップ	△	今まで通り、心がけているが、まだ、停車時にエンジンがかかっていることがあったため、今後も努力する。	

【評価】：取組は比較的できている。工事の工種等による外的要因に依存するが、事務所と現場含む全社の両方で管理し、二酸化炭素排出量を把握して削減に取り組むこととする。環境活動内容や取組意識は問題ないと考え、目標値も適切と考えるので、このまま継続し二酸化炭素排出量削減に取り組むこととする。

社屋設備として太陽光発電システム(カナディアン・ソーラー)を導入し屋上へソーラーパネルを27枚設置し、2014年3月31日15:00より稼働している。環境を汚さないクリーンエネルギーを作り、電力使用量を削減することで二酸化炭素排出量の削減を目指す。



▶ 廃棄物排出量の削減

環境活動内容		結果		次年度の 取組内容
一般廃棄物の削減	分別の徹底	○	ペットボトル、缶、燃えるごみ、不燃ごみでしっかり分別を行っていた。	継続して実施する。
	裏紙の使用	○	全社的に活動できた。	
産業廃棄物の削減	現場で発生した廃棄物の処理	○	適切に処理を行った。チェックをしっかり行い、今後も継続する。	継続して実施する。
	現場内利用の推進	△	設計上、現場内利用を行うものに関してはできていたが、それ以外については、できなかった。	
	再資源化率を上げる (100%を目標とする)	○	現場内利用できないものについては適切に処理を行い、再資源化を行う。再資源化率100%を目標とし、今後も継続する。	

【評価】：取組はしっかりとできている。工事の工種等による外的要因に依存するが、目標の設定方法を排出量と再生資源化率の両方で管理し、排出量の削減と再生資源化率100%を目標に取り組むこととする。環境活動内容や取組意識は問題ないと考え、このまま継続し廃棄物排出量の削減に取り組むこととする。

▶ 排水量の低減

環境活動内容		結果		次年度の 取組内容
水道水使用量の低減	節水呼びかけ トイレ・洗車・水飲み などの節水活動実施 (水の総使用量は288m <sup>3</sup> より多く使わない)	○	呼びかけを行い、全社的にトイレ・洗車・水飲みなどの節水活動を行った。	継続して実施する。

【評価】：各社員の取組はしっかりとできている。水の総使用量は288m<sup>3</sup>より多く使わないことを目標とし、継続して節水に取り組む。

▶ グリーン購入の推進

環境活動内容		結果		次年度の取組内容
事務用品のグリーン購入	購入時にグリーン購入適合品目かどうか確認	○	購入時に確認を行い購入の推進に努め、目標を達成できた。	継続して実施する。

【評価】：担当社員の取組はしっかりとできており、コピー用紙以外の品目に対してはグリーン購入推進を現在も実施し、リサイクルトナーやドラムを積極的に利用し、購入比率は増加となった。適用できなかったコピー用紙に関しては使用量を「削減」するよう努めるとともに、他の種類のグリーン購入法適合品が利用できないかどうか検討している。

▶ 環境に配慮した施工

環境活動内容		結果		次年度の取組内容
環境に配慮した施工の検討	建設資材の再生資源購入の推進	△	設計上、再生資源を使用するようになっていたもの以外の再生資源の購入の推進は行えなかった。	継続して実施する。
	低騒音工事、ほこりを発生させない工事等の実施	○	機材を使用するにあたっては、指定された低騒音型重機を使用することにより、環境への配慮を行った。	
	環境に配慮した施工方法を採用した工事の実施	×	今期は設計上、環境に配慮した施工方法を採用することができなかった。	

【評価】：工事期間中の積極的な取組が求められるが、繁忙期に配慮することは、極めて厳しいため、閑散期に調査や準備を行い、取組が円滑に行えるようにしておく。

## 環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される主な法規は以下の通りで、これらの環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

1. 下水道法・東京都下水道条例
2. 環境確保条例
3. 騒音規制法
4. 振動規制法
5. 廃棄物処理法
6. 産業廃棄物処理基準
7. 建設リサイクル法
8. 自動車リサイクル法
9. 江東区清掃リサイクル条例
10. フロン排出抑制法
11. 小型家電リサイクル法
12. 家電リサイクル法
13. 労働安全衛生法

## ✚ 代表者による全体の評価と見直しの結果

代表者：吉田 富治雄

実施日：平成 30 年 9 月 25 日

1. 見直し 関連情報	項目	確認（必要に応じて評価・コメント 記載）
	1 環境目標・及び目標達成状 況	一般廃棄物の削減や環境に配慮した 施工の検討など、目標達成されてい ない項目があるものの、倉庫建替や 人員、工事の増加や工事内容など の外的要因によるため、問題ないと考 える。また値は、基準年比で減少傾 向にあるため、今後も継続的に取組 を行っていく。
	2 環境活動計画及び取組実施 状況	全員で取組む姿勢を常に持つこと。
	3 環境関連法要求一覧及び遵 守	変更なし
	4 外部コミュニケーション・ 対応記録	問題なし
	5 問題点の是正・予防処置の 実施状況	実施なし。 （一般廃棄物の削減や環境に配慮し た施工の検討に関しては、倉庫建替 や人員、工事の増加や工事内容など の外的要因によるものであると考 え、経過を観察する。）
	6 取引先、業界、関係行政機 関その他の外部動向	該当なし
	7 そ の 他 （ ）	

2. 代表者による全体評価・見直し指示	全体評価・コメント（環境経営システムの有効性、環境への取組の適切等）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の協力もあり、外的要因を考慮すると、目標達成できたと言える。EA21 の仕組み、取組状況は概ね良好であり、継続することが大切である。</li> <li>・中間審査まで時間があるため、気を抜かず引き締めること。</li> </ul>		
	見直し項目		変更の必要性		「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	事務所	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
			建設現場等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2	環境目標	事務所	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
			建設現場等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3	環境活動計画・取組項目	事務所	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
			建設現場等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4	環境に関する組織	事務所	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
			建設現場等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
5	その他のシステム要素	事務所	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
		建設現場等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
6	その他（外部への対応）	事務所	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
		建設現場等	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		

## ✚ 環境配慮型施工の実施

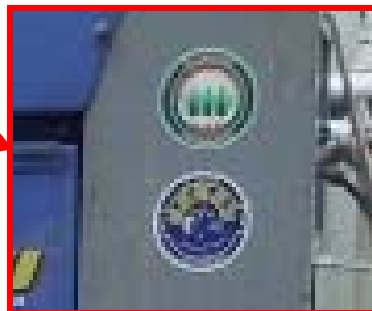
本年度の実施運用期間において、環境に配慮した施工として、特に騒音・振動に関して、指定された機械を使用することを目指しました。よって、実施運用期間中の各現場において、低騒音型の建設機械の使用を徹底しました。

発電機 DLW-30LSW デンヨー（株）

《夢の島公園かもめ橋改修工事》



超低騒音型・排出ガス3次基準  
ラベル表示(国土交通省指定)

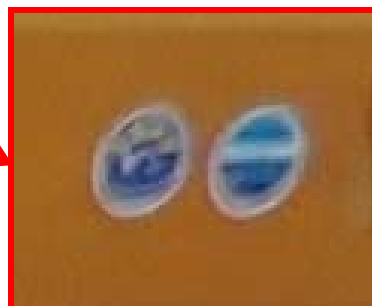


ラフテレーンクレーン MR-250R (株)加藤製作所

《特別区道江470号線外1路線電線共同溝工事》



低騒音型 '97 ラベル表示  
(国土交通省指定)



後方超小旋回ショベル SH75 住友建機（株）

《特別区道江 470 号線外 1 路線電線共同溝工事》

低騒音型 '97 ラベル表示  
（国土交通省指定）



0.2m<sup>3</sup> アスファルト切削機（エスカルゴン）（株）クボタ

《晴豊 2 号橋（仮称）及び隅田川橋りょう（仮称）補修工事  
（29 五ー環 2）》

超低騒音型 '97 ラベル表示  
（国土交通省指定）



後方超小旋回ショベル SH75 住友建機（株）

《晴豊2号橋（仮称）及び隅田川橋りょう（仮称）補修工事  
（29五ー環2）》



低騒音型 '97 ラベル表示  
（国土交通省指定）





その他に

今期は本社事務所において、レーザープリンターが故障したため国際的基準をクリアする、高い生産性とクオリティーに環境性能をプラスした機種である（DocuPrint C5000 d）を導入しました。

プリンター本体は国際エネルギースタープログラムに適合し、有害物質の発生を抑えた素材構成で RoHS 指令の対応はもちろん、グリーン購入法、エコマークにも適合しています。

本体は環境に配慮し、植物（とうもろこし）由来成分を重量で 30 %以上を含む、日本バイオプラスチック協会（JBPA）認証のバイオマスプラをドラムカートリッジ部のカバーに採用しており、従来のプラスチック（ABS 樹脂）を使用した場合に比べ、CO2 排出量を約 20 %削減することができます（LCA 評価による）。

また、トナーカートリッジ／ドラムを交換する際にはリサイクル品を活用し、環境負荷の低減を図りました。



## ✚ 環境コミュニケーション

▶ 平成30年1月22日の朝、降雪があり、翌日の深夜に近隣において雪かきを行いました。

除雪作業状況  
(江東区内)



小名木川クローバー橋 (江東区内)  
除雪作業前

小名木川クローバー橋 (江東区内)  
除雪作業完了





小松橋（江東区内）  
除雪作業前



小松橋（江東区内）  
除雪作業完了



猿江橋（江東区内）  
除雪作業前

猿江橋（江東区内）  
除雪作業完了





東深川橋（江東区内）  
除雪作業前

東深川橋（江東区内）  
除雪作業完了





万年橋（江東区内）  
除雪作業前

万年橋（江東区内）  
除雪作業完了

